

受験番号

受験番号

令和6年度
国語

問題一

令和六年度
国語解答紙

文・教・法・医（保健学科看護学専攻）
（四枚のうち、その一）

一

問一

師匠	ア
拙著	イ
孤立	ウ
塾生	エ
容易	オ

問二

エ

問三

一般的に知識は、誰から誰かへ受け渡しが可能で伝わるものと信じられているが、著者は、知識を文字に表した書物や教師が教える内容は、単なる情報であり、それを覚えたとしても記憶に過ぎないと考えている。

問四

記憶、情報にとどまらない知識とは、様々な場所で使用可能で、他の知識と関係づけられ、必要とする場所で発動できるものであるが、この知識の定着の過程には、各人の無意識の働きやこれまでの経験など個人差が存在する。知識を作るとは個人や社会の発展につながる問題解決に必要な有用な知識を集団の力で創出すること。

受験番号

受験番号

令和6年度
国語

問題二

令和六年度
国語解答紙

文・教・法・医（保健学科看護学専攻）
（四枚のうち、その二）

二

問五

夫に失望している現実から逃れるために、自ら死を選ぶことを考えたが、死に対する本能的な恐れによる抵抗感から踏み留まってしまい、二つの気持ちの間で煩悶していたところ、突如眼前に開けた自然の姿により、今までの頑なな心が浄化されていく状態。

問六

自然の全くの無関心

問七

自然は万物に対して平等であり、人間と無関係に存在し、幸不幸や生死も等価に扱うもので、俗世間を超越したものであるため、お延の対人関係におけるプライドや絶望といった悩みが、ちっぽけなものであると感じさせることで、お延を悩みから解放してくれる存在。

受験番号

受験番号

令和6年度
国語

問題三

令和六年度
国語解答紙

文・教・法・医（保健学科看護学専攻）
（四枚のうち、その三）

三

問八

- (1) 謙讓（語）
- (2) 武蔵坊〔弁慶〕から判官〔源義経〕

問九

静まで義経の供をすることで里人に知られて身分の低い追手に射殺されると
いう不名誉な事態を避けるために、落ち延びて自らの命を守ることに。

問十

- ② 自分自身のことではあるけれども本当に理解できない
- ③ このことこそ（たしな）立派なご決意でございますよ。

問十一

都を退われ山深く身を隠して逃げる身の上の義経は、もし寵愛する静を伴い
続けられ、身を危険に晒す家来との主従関係を損ない、逆に、もし家来とう
和を重ねれば、静への未練を絶たねばならず、その板挟みになって苦悩したから。



受験番号

受験番号

令和6年度
国語

問題四

令和六年度
国語解答紙

文・教・法・医(保健学科看護学専攻)
(四枚のうち、その四)

四

問十二

①
みづか
ラ
②
むし
ロ

問十三

オ

問十四

エ

問十五

白衣は姚莪長に刀で斬りつけられたが、ただうなじに生えた髪の中で硬いものがぶつかり合って高く郷音く音を聞いただけで、全く痛みを感じなかった。

問十六

蜀の白衣は観世音の金像を小箱に入れたお守りを髪に結びつけて戦いに出た。敵の姚莪から斬りつけられた時、無傷であったが小箱の中の観音像は破損していた。これは観音様が身代わりになつてくださったと感激し、その後は益々仏の慈悲深さを悟り、仏道修行に励んだ。

